

KA教育3D研究会

『公開授業見学会』レポート



公開授業見学会



日時 2007年 12月1日(土)

8:40~11:10

会場 順天中学高等学校

「グループコミュニケーション
公開授業見学会」



順天中学校・高等学校

自分の考えを多面的に構築、展開するトレーニング グループコミュニケーションを活用した教育授業



学校全体として効果的に 3D教育プログラムを活用

2007年12月1日、順天中学校・高等学校にて3D教育プログラムを活用した授業の公開授業が実施された。数年前から同プログラムの校内研修としてこの公開授業を実施している。今回も「3D教育プログラム」を導入している他校の先生方も多数見学に訪れた。

授業は中学1年生から高校3年生まで全校で実施され、各学年毎に異なったテーマが扱われた。中学校1年生では「親への感謝の気持ち」を持つことを目的としたプログラム『してもらったこと してあげたこと』を実施。中高一貫の初期段階において、人間形成の大事な要素を学ぶプログラムが扱われている。

また、高校1年生では『適職探し』のプログラムを活用し、自己の適性から適職を判断し、進路選択に活用する目的で授業が行なわれた。

その他の学年においてもそれぞれの時期に応じたプログラムが実施され、学校全体として効果的にプログラムを活用していることが伺えた。

いずれも中学から高校へ、また高校からその後の進路へと向かう過程において、生徒自身が身につけるべき要素、考察すべき内容に基づいたプログラム選択になっている。

■ 公開授業内容

中1	テーマ…『してもらったこと してあげたこと』 狙い…親への感謝の気持ち
中2	テーマ…『たしかに…でも』 狙い…反論する会話法、コミュニケーション
中3	テーマ…『価値観国際比較』 狙い…価値観の比較、価値観の相違を知る
高1	テーマ…『適職探し』 狙い…適性から適職を判断し、進路選択に活用
高2	テーマ…『ジョハリの窓』 狙い…自己開示の必要性を知る
高3	テーマ…『10年後の私からの手紙』 狙い…キャリアデザインと現在の在り方を考察





生徒の“生きる力”を培う 教育プログラムとしての位置づけ

公開授業に参加した他校の先生方は様々な視点で各学年、各クラスを見学していく。同学年のクラス、同じ授業内容であっても、クラスによってその雰囲気は異なる。それぞれのクラスの雰囲気に対して、順天中学高等学校の担当教員がどのように授業を進めているかを見ることで普段客観的に見ることができないプログラム実施の手法を学習することができたのではないだろうか。

同校の片倉敦教頭先生はこの公開授業についてこう語る。

「様々な学校の先生方に足を運んでいただき、アンケートなどを通して忌憚のない意見交換をすることができます。また、本校の中でも積極的にスキルアップを目指す教師も増えてきていますので、その流れを大事にしていきたいと考えています。

知識としての理論も必要ですが、こうした公開授業は、“見られる”という点で、教師の刺激にもなり、非常に効果的です。自他共のレベルアップにつながっていくと思います」

笑顔の多いクラス、真剣に議論を行なうクラスと、それぞれ特徴が違う。だからこそ、先生にとっても自分の枠に留まらず、様々な先生の取り組みに触れることで先生自身の幅が広がっていくのだろう。

3D教育プログラムをより効果的に活用するためには、指導する側のスキルアップと情熱こそが鍵を握ると感じた同校の公開授業であった。

出
来
る
・
大
丈
夫
・
大
成
功

KA教育3D研究会

2007. 12.01 KA教育3D 公開授業見学会 in 順天中学高等学校

株式会社KA教育

〒173-0012

東京都板橋区大和町12-12

03-6784-7675